

「木曾中学校の決まり」*4月に時間をとって生徒に説明をします。

各ご家庭でも木曾中学校の生活指導の決まりを理解していただきご協力の程お願いします。

木曾中学校での生活のきまり

■学校は

- 1) みんなで勉強する場です。
- 2) 集団生活(みんな)の場です。

お互いが歩み寄り、居心地のよい環境をつくっていきましょう。

さまざまな学びに真剣に取り組むことができる環境をつくっていきましょう。

■木曾中学校のきまり

(1) 授業規律を身に付けましょう。(授業はみんなのもので)

- ① 休み時間は次の授業の準備をする時間です。机の上に教科書などを置くなどの準備をしましょう。
- ② 忘れ物は厳禁です。物の貸し借りは禁止です。人のものは触らないようにしましょう。
- ③ 授業の始めと終わりはきちんとあいさつをしましょう。
- ④ 私語や授業に関係ない発言は慎み、授業に集中しましょう。
- ⑤ 授業の座席は決められた場所に座りましょう。(不規則発言や立ち歩きは禁止です。)

(2) 身だしなみを整えましょう。(気持ちよくみんなが過ごすためのマナーです)

- ① 標準服はきちんと着ましょう。
 - ア) 儀式(入学式、卒業式)、生徒発表会時にはセーター、ベストは脱ぎましょう。
 - イ) 冬服時はネクタイは必ず着用しましょう。夏服時はネクタイを着用しなくてもかまいません。
 - ウ) 夏服時、ポロシャツ着用の場合は裾をズボン・スカートから出して着ることも可です。ワイシャツのシャツ出しは認めていません。
 - エ) 冬季はコートなどの防寒着を着用してもかまいません。規定はメーカーなどのマーク、派手ではない文字程度までは、認めています。(部活動のウインドブレーカーも規定内であればOK)
 - オ) 冬季はセーター、カーディガンを着用することができます。(フード付きのカーディガンなどは禁止。)
 - カ) ベストの着用は、冬季・夏季共に着用できます。
 - キ) 中に着るシャツは白・黒・紺・グレー系統の単色でお願いします。(ワンポイントは可)
*シャツからプリントが見えるものは避けてください。
 - ク) 登下校時の靴は運動靴とします。ローファー(革靴)は認めていません。
 - ケ) 上履きはかかとを踏まずにきちんと履きましょう。落書きも禁止です。しっかりと名前を書きましょう。
 - コ) 靴下の色は白・黒・紺・グレーの単色が基本です。マークが入っている場合は2ポイント程度。受験関係、職場訪問等、校外に出かける場合は派手な目立つものは好ましくありません。儀式はくるぶしソックスはやめてください。
 - サ) スカートを短くして着用することは認めていません。膝にかかる程度の長さでお願いします。
 - タ) 色の規定は次の通り

冬のコート類	紺、黒、茶、白、グレー、ベージュを基調としたもの
セーター類、ベスト	紺、黒、茶、白、グレー、ベージュの無地 模様はワンポイント程度
ベルト・ヘアゴム	黒、濃紺、濃茶 系統
靴下	紺・黒・白・グレーの単色系統(マークは2ポイント程度) 派手なものや行事、校外活動にふさわしくないものは禁止
靴	ローファーは禁止。運動に適したもの。高価なものもやめましょう。
マフラー、手袋、ニット帽	特に規定はない *飾りがついているものや派手なものは禁止。 ニット帽に関しては敷地に入ったら外しましょう。

- ② 逸脱した異装・頭髮の加工は認めていません。

- ・髪を染めることやパーマをかけることは禁止しています。
- ・装飾類（ピアス、指輪等）も認めていません。化粧、マニキュア、ネイルアートも同様です。
- ・髪型について「清潔感があり、校外学習等にふさわしい髪形」です。過度な刈上げは認めていません。刈り上げた部分に髪が大きく被るような髪型も避けてください。ラインを入れることや剃り込は禁止しています。髪の毛編み込みについても認めていません。マンバンも認めていません。
*教科によっては安全上の理由から髪を結ぶように指導しています。
学校生活にふさわしくない髪型にしてきた場合は直すように指導することがあります。

(3) チャイム着席を守りましょう。(みんなの時間です)

朝は8:15~8:25までに登校です。8:25に自席に着席していない場合は遅刻になります。

授業の開始時刻には教室の自席に着席するようにしましょう。*ギリギリで行動することはやめましょう。

(4) 不要物の持ち込みは禁止です。(学校はみんなで学ぶ場です。真剣な雰囲気もみんなで作ろう)

- ・学習に関係ないもの（お菓子類、雑誌・漫画・ゲーム・携帯電話等）はその場で預かります。預かった物はお家の方（保護者）に来ていただき、返却します。
- ・スマートフォン・アップルウォッチについては原則持ち込み禁止です。
*家庭の事情でどうしても必要であるときは、保護者の方が専用の申請書にその理由を書いて申請するようになしてください。登下校時に触ることがないようにご家庭でも指導をお願いします。
年度変わりには再申請するようになしてください。
- ・カッター等危険なもの（ハサミを除く）は学校に持ってきてはいけません。

(5) 公共物は大切にしましょう。(学校はみんなの場所です)

- ・故意の破損については、保護者の方に連絡の上、全額弁償を原則とします。(机、椅子の破損含む)

(6) 暴言、暴力行為、いじめは絶対にやめましょう。

- ・どんな理由があっても人を傷つける行為は絶対にやってはいけません。
- ・先生方や地域の方、来校された人にも丁寧な言葉かけを心がけましょう。

(7) 最終下校時刻を守りましょう。部活動等の最終下校時刻

一年間を通して 18:00 となっています。大会前は18:30まで延長することもあります。

(8) 飲み物について

- ・中身は水、お茶、果汁ジュース、スポーツドリンク、乳酸飲料。炭酸飲料は認めていません。
- ・ペットボトルは認めていますが、空になったペットボトルは必ず自宅まで持ち帰るように指導しています。
- ・紙パック飲料、ビン・缶は禁止です。

(9) SNS などのインターネット使用のルールを守りましょう。

- ・他人を誹謗中傷する書き込みや個人情報を投稿するなどは絶対に止めましょう。
- ・SNS 等のインターネット使用に際しては、インターネット依存が原因となって学校生活に支障をきたすことがないように、家庭でルールを必ず設けて使用しましょう。
- ・クラスの中でグループはずしなどの陰湿ないじめは絶対にダメです。
- ・木曾中学校ではクラス、学年と称したグループの作成は禁止としています。
- ・個人情報を SNS に載せるなど安易な使用が見受けられます。位置情報や写真などは載せないこと。
- ・批判や不満などの人が見たときに不快になるものも載せないようにしましょう。

スマホの使い方（SNS 含む）は保護者の方の責任です。しっかりと家庭で指導をお願いします。

(10) その他 *以下の点についても各ご家庭でご指導をお願いします。

- ・登下校時も周りをよく見て行動しましょう。
- ・人の敷地に入ることや横に広がって歩く、奇声を発することなどは周りの人の迷惑です。
- ・当たり前のマナーを意識して行動しましょう。
- ・衣替えについて、木曾中学校では「移行期間」ではなく「推奨期間」を設置しています。

伝達方法：生徒会からの新聞発行や生徒朝礼で行う呼びかけを通して行っています。

5月~6月：夏服推奨機関

7月~9月：夏服

10月：冬服推奨機関

12月~4月：冬服

*あくまで目安です。暑い時期、寒いにあった服装を選ぶように家庭でもご指導をお願いします

<校則やきまりについて>

校則やきまりは1つ1つに意味があって決められたものばかりです。しかし、時代に沿って変えていく必要のある校則もあります。そのため、校則についての見直しを生徒会とともにを行っています。一部の人のためではなく、「みんな」にとって安心して授業に取り組める学校となるように校則検討を行っています。

決まりがあることで「安心した学校生活」につながるだけでなく、決まりを守ることで「生徒間の信頼関係」も深まり、他を思いやる気持ちが育ちます。

決まりやマナーは生徒を縛るためではなく、人のことを考えられる心を育てる機会としてとらえていただき、学校での指導にご協力をお願いします。

<指導について>

「自分だけ注意される」「あの子だって」といったことを聞くことがあります。しかし、他人が守っていなければ自分も守らなくてよいといったことは成長にはつながりません。指導は傷つけることを目的としているのではありません。将来において人と一緒に豊かに生きていくための成長を促すものです。ご家庭でも学校の指導に対してのご理解とご協力をお願いします。

<いじめについて>

身体的な苦痛のみならず、相手（友達）が精神的な苦痛を伴う場合もいじめです。

「昔はこれくらいあった」といった考えではいいじめはなくなりません。

「容姿をいじること」「人のものをとること」「嫌がることを言って楽しむこと」「グループ外し」など生徒間で平等でない関係ができないように家庭でもしっかりとお話してください。

*スマホ（SNS含む）の使用に関しては家庭で責任をもって指導をお願いします。

<授業妨害について>

授業はみんなのもので、中学校3年生では多くの生徒が受験を迎えます。みんなにとって「学び」とは平等に与えられた可能性です。一部の生徒の勝手に授業が妨害されることはあってはいけません。みんなでより学びの深い授業になるようにご家庭でもお子様にお伝えください。

<中学校は考え方を深め、心身ともに大きく成長できる場所>

「何のために勉強するのかわからない。」「学校でなくとも勉強はできる」という意見を聞きます。学校には様々な人がいて様々な価値観を持った人がいます。これらの多様性を学ぶ中で、集団の中での自分の在り方や人の考えを多方面から理解する力が付きます。ただ単に学力のみの学びでなく、自分や友達の考えを、交わしながら自身の考えを深めていきます。中学校生活では大人に指導されることもあります。また友達同士でのトラブルが起きることあるかもしれません。集団生活の中でたくさんの経験（失敗、成功、発見）をし、大きく成長していきます。

この中学3年間は心が大きく成長する時期でもあります。お子様の困りや変化で気になることがあれば学校へご相談ください。「学校」「家庭」「社会」がお互い協力し合い、生徒を育てていくことが生徒の安心感につながります。

(11) 連絡事項

・学校給食について

エプロン（腰だけに巻くものはご遠慮ください）、帽子は三角巾で代用可能）、マスク（当番時着用）を各ご家庭で準備していただけると助かります。

*貸し出し用のエプロンを使用した際は翌週に忘れずに洗濯してアイロンをかけて返却ください。

・スマートフォン等の持ち込みはトラブル防止や学業に集中するために禁止しています。

家庭の事情でどうしてもお子様にスマホ等を持たせることが必要な場合は「スマートフォン持参許可書」を担任から受け取り、ハードケース等（100均等で購入可）に入れ、ケースに記名していただき登校時に職員室の学年職員にご提出をお願いします。下校時に返却します。*原則として持ち込みは禁止としています。